

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月13日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市中原町字平山18番地	
氏名 日東電工株式会社 豊橋事業所	
事業所長 高吉 勇一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-41-1121	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日東電工株式会社 豊橋事業所
事業場の所在地	愛知県豊橋市中原町字平山18番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E-32 その他の製造業
②事業の規模	2024年度製造品出荷額 1,349 億円
③従業員数	1,828 名(2025.3.31)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	樹脂+溶剤 → 粘着剤 → テープ製造工程 ↓ 廃プラスチック類 廃油、廃固形糊 他

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
環境安全部 担当：官庁／処理業者契約 製造課 製造課 製造課 製造課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	7,091 t	9 t
	(これまでに実施した取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	6,878 t	8 t
	(今後実施する予定の取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
環境安全部 担当：官庁／処理業者契約 製造課 製造課 製造課 製造課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排出量	99 t	141 t
	(これまでに実施した取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず
	排出量	96 t	136 t
	(今後実施する予定の取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
環境安全部 担当：官庁／処理業者契約 製造課 製造課 製造課 製造課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	3 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	2.9 t	1.9 t
	(今後実施する予定の取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
環境安全部 担当：官庁／処理業者契約 製造課 製造課 製造課 製造課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	金属くず
	排出量	184 t	4 t
	(これまでに実施した取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	金属くず
	排出量	178 t	3 t
	(これまでに実施した取組) ・製造プロセスの見直し、発生源対策 ・分別の強化や設備導入による有価売却切り替え		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量		7091 t	9 t
		優良認定処理業者への処理委託量	4852 t	9 t
		再生利用業者への処理委託量	6458 t	1 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	8 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	632 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		汚泥	木くず
	全処理委託量		99 t	141 t
		優良認定処理業者への処理委託量	52 t	5 t
		再生利用業者への処理委託量	99 t	141 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量		3 t	2 t
		優良認定処理業者への処理委託量	3 t	2 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	1 t	2 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		廃油	金属くず
	全処理委託量		184 t	4 t
		優良認定処理業者への処理委託量	184 t	4 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	4 t
		認定熱回収業者への処理委託量	184 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
		全処理委託量	6878 t	8 t
		優良認定処理業者への処理委託量	4706 t	8 t
		再生利用業者への処理委託量	6264 t	1 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	7 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	613 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		汚泥	木くず
	全処理委託量		96 t	136 t
		優良認定処理業者への処理委託量	50 t	4 t
		再生利用業者への処理委託量	96 t	136 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量		2 t	1 t
		優良認定処理業者への処理委託量	2 t	1 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	1 t	1 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	金属くず
		全処理委託量	178 t	3 t
		優良認定処理業者への処理委託量	178 t	3 t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	3 t
		認定熱回収業者への処理委託量	178 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産廃廃棄物の種類 (名称)		単位: t/年						合計
項目								
〇 年 度 の 実 績	〇〇年度の産業廃棄物発生量							
	①自ら再生利用した量							
	②自ら熱回収を行った量(t/年)							
	③自ら中間処理により減量した量							
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量							
	⑤全処理委託量							
	⑥優良認定処理業者への処理委託量							
	⑦再利用業者への処理委託量							
	⑧認定熱回収業者への処理委託量							
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
〇 年 度 の 目 標	〇〇年度の産業廃棄物発生量							
	①自ら再生利用した量							
	②自ら熱回収を行った量(t/年)							
	③自ら中間処理により減量した量							
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量							
	⑤全処理委託量							
	⑥優良認定処理業者への処理委託量							
	⑦再利用業者への処理委託量							
	⑧認定熱回収業者への処理委託量							
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和7年 6月 14日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市神野新田町チノ割12番地		
氏名 株式会社 紅久		
代表取締役 三浦裕司		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-32-8888		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社 紅久	
事業場の所在地	豊橋市内各工事現場	
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	07：職別工事業（0796：解体工事業）	
② 事業の規模	元請完成工事高 ： 7,519万円	
③ 従業員数	72名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	■建物解体工事 ・がれき類 ・木くず ・廃プラスチック類 ・ガラス陶磁器くず ・繊維くず ・紙くず ・金属くず 再生処理業者に委託、再生砕石として再資源化 再生処理業者に委託、燃料チップとして再資源化 再生処理業者に委託、原料として再資源化 再生処理業者に委託、原料として再資源化 中間処理業者に委託、焼却の上埋め立て処分 再生処理業者に委託、燃料として再資源化 当社にて中間処理、原料として再資源化	

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役社長（産業廃棄物処理総括責任者） ↓ 業務統括部長（産業廃棄物管理担当者） ↓ 工事責任者（産業廃棄物現場管理者） ↓ 下請協力会社			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
		優良認定処理業者への処理委託量	t
		再生利用業者への処理委託量	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年度の産業廃棄物発生量及び令和7年度の目標

(単位：t/年)

産業廃棄物の種類 (名称)		がれき類	紙くず	木くず	混合物	廃プラスチック類			合計
6 年 度 の 実 績	項目								
	6年度の産業廃棄物発生量	2230.360	0.980	32.040	34.200	14.525			2,312.105
	①自ら再生利用した量								0.000
	②自ら熱回収を行った量(1/年)								
	③自ら中間処理により減量した量								
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量								
	⑤全処理委託量	2230.360	0.980	32.040	34.200	14.525			2,312.105
	⑥優良認定処理業者への処理委託量								
	⑦再利用業者への処理委託量	2230.360	0.980	32.040	34.200	14.525			2,312.105
	⑧認定熱回収業者への処理委託量								
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
7 年 度 の 目 標	7年度の産業廃棄物発生量	2000.000	0.800	30.000	30.000	11.000			2,071.800
	①自ら再生利用した量								0.000
	②自ら熱回収を行った量(1/年)								
	③自ら中間処理により減量した量								
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量								
	⑤全処理委託量	2000.000	0.800	30.000	30.000	11.000			2,071.800
	⑥優良認定処理業者への処理委託量								
	⑦再利用業者への処理委託量	2000.000	0.800	30.000	30.000	11.000			2,071.800
	⑧認定熱回収業者への処理委託量								
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書		2025 年 6 月 1 日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市明海町4-31		
氏名 旭ファイバーグラス株式会社 中部工場 工場長 石川 延博		
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-75-6911		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	旭ファイバーグラス株式会社 中部工場	
事業場の所在地	愛知県 豊橋市 明海町4-31	
計画期間	2025. 04. 01～2026. 03. 31	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業	
② 事業の規模	当事業所出荷額： 7, 285, 474, 959円/年	
③ 従業員数	当事業所：30人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ライン清掃及び製品屑収集：汚泥→中間処理業者に委託し燃料化 屑製品再利用のためのポリ剥き：廃プラ→中間処理業者に委託し固形燃料化 廃棄パレット：木屑→中間処理業者に委託し再利用 ライン設備更新で発生する金属くず：有価売買 ラインコンベア清掃等で発生する汚泥：中間処理しセメント会社で再利用 汚泥：焼却処分業者で処理することにより熱発電化 廃酸：中間処分業者に委託しエマルジョン燃料化	

（日本産業規格 A 列 4 番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 各種類毎に発生から分別作業（各部門） ↓ 分別状況確認～所定保管場所へ回収・運搬作業（各職場・構内協力企業） ↓ 保管量確認～配車手配～搬出作業～排出記録管理（事務グループ）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	6種
	排出量	1252.613	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥の1部を製品へ少量添加することで廃棄量削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表参照	6種
	排出量	1051.5	t
	（今後実施する予定の取組） ガラス屑に関し、設備更新による廃棄量の削減を計画する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 人の入れ変わり等による未分別を防ぐため 場内廃棄ルールの定期的な周知計画。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		汚泥	ガラス屑
	全 処 理 委 託 量		563.8t	479.4t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	563.8t	479.4t
		再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥：製品添加開始 ガラス屑：原料に混ぜて使用テスト実施済み 原料化を開始			

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス屑
		全処理委託量	510.0t	370.0t
		優良認定処理業者への処理委託量	510.0t	370.0t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 汚泥：再利用化実施済み 添加量増加試作検討 ガラス屑：設備更新による廃棄量削減中		
	※事務処理欄			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃プラ	木屑
	全 処 理 委 託 量		123.7t	13.1t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	123.7t	13.1t
		再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 歩留り向上することにより廃プラの発生は抑制できるため、生産ラインの安定化を図る設備改善を随時調整。			

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃プラ	木屑
		全処理委託量		100.0t	10.0t
			優良認定処理業者への処理委託量	100.0t	10.0t
			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) さらなる安定のための設備改善予定。 木屑：ワンウェイパレットの使用を制限し、通いパレットを重点的に使用する計画を進める。			
		※事務処理欄			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（ 年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】				
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃酸	廃油	
	全 処 理 委 託 量		70.9t	1.8t	
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量		70.9t	1.8t
		再生利用業者への処 理 委 託 量		t	t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量		t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		t	t
	(これまでに実施した取組) 廃酸：清掃頻度の見直し				

(第5面)

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類		廃酸	廃油
		全処理委託量		60.0t	1.5t
			優良認定処理業者への処理委託量	60.0t	1.5t
			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 廃酸：清掃頻度見直しによる引取回数の削減検討 廃油：液状の廃油に関しては有価売買検討中			
※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

[illegible]

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月17日	
豊橋市長	殿
提出者	
住所	静岡県浜松市中央区高塚町4835番地の1エアリス1F
氏名	大東建託株式会社 浜松 支店 支店長 石間 大介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	053-448-7092
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大東建託株式会社 浜松支店
事業場の所在地	静岡県浜松市中央区高塚町4835番地の1エアリス1F
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	12,846 百万円（前年度完工高）
③従業員数	68 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類 → 破碎 → 再生砕石として再生利用 廃プラスチック → 破碎、圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず → 切断、破碎 → 原料として再利用 紙くず → 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず → 破碎 → チップ・燃料等として再生利用 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず → 破碎 → 再利用または埋立

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	本 社	・全社的な廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・全社的な廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店 (責任者)	・支店における廃棄物処理に関する検討 ・廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用)、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・支店における廃棄物処理方針の策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定 ・廃棄物処理計画の作成
	支店 (担当者)	・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・監督官庁への各種報告 ・産廃協力業者に対する教育、指導 ・委託契約の締結、契約書の管理 ・その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 6 年度実績)】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	- t	491.307 t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排 出 量	- t	562.397 t
	(今後実施する予定の取組) ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・狭小現場での分別の仕組をつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排出量	- t	960.555 t	3.600 t	0.226 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
排出量	- t	1,099.543 t	4.121 t	0.259 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排出量	298.103 t	94.475 t	245.088 t	1,295.840 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
排出量	341.237 t	108.145 t	280.551 t	1,483.342 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排出量	211.640 t	- t	- t	29.900 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート破片	【石綿含有】ガラスくず、コンクリート	【石綿含有】廃プラスチック	【石綿含有】がれき類
排出量	242.263 t	- t	- t	34.226 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排出量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
排出量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度実績）】				
産業廃棄物の種類	廃石綿			
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃石綿			
排 出 量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度実績）】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	0.000 t	491.307 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	66.649 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	16.306 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
	・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
全処理委託量	0.000 t	960.555 t	3.600 t	0.226 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	216.375 t	0.000 t	0.226 t
再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	744.180 t	3.600 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

(第4面)－3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	298.103 t	94.475 t	245.088 t	1,295.840 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.837 t	56.075 t	26.400 t	2.960 t
再生利用業者への 処理委託量	1.396 t	38.400 t	108.532 t	1,292.880 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	アスファルト・コン クリート破片	【石綿含有】ガラス くず、コンクリート	【石綿含有】廃プラ スチック	【石綿含有】がれき 類
全処理委託量	211.640 t	0.000 t	0.000 t	29.900 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	190.476 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度実績）】				
産業廃棄物の種類	廃石綿			
全処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	562.397 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	72.478 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	17.733 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
	※事務処理欄		

(第5面)－2

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	1,099.543 t	4.121 t	0.259 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	235.299 t	0.000 t	0.246 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	809.266 t	3.915 t	0.000 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

(第5面)－3

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
	全 処 理 委 託 量	341.237 t	108.145 t	280.551 t	1,483.342 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.085 t	60.979 t	28.709 t	3.219 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1.518 t	41.758 t	118.024 t	1,405.956 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コン クリート破片	【石綿含有】ガラス くず、コンクリート	【石綿含有】廃プラ スチック	【石綿含有】がれき 類
	全 処 理 委 託 量	242.263 t	0.000 t	0.000 t	34.226 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	207.135 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	【石綿含有】紙くず	混合（安定型）	混合（管理型）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管）
全 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃石綿	0	0	
	全 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画内訳

整理番号：

(単位:トン)

[illegible]

産業廃棄物処理計画書

事業場の名称	大東建託株式会社 浜松支店
事業場の所在地	静岡県浜松市中央区高塚町 4 8 3 5 番地の 1 エアリス 1 F
①当該事業場における事業の概要	別添のとおり
②計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日
③産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
④産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑤産業廃棄物の分別に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑥産業廃棄物の再生利用に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
⑦産業廃棄物の処理に関する事項	別添「特定排出事業者の産業廃棄物適正処理報告書」のとおり
備考	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		7 年 6 月 19 日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市原町字塘上46-3		
氏名 有限会社 河邊農牧		
代表取締役 河邊健吾		
電話番号 090-1412-9952		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	有限会社 河邊農牧	
事業場の所在地	愛知県豊橋市原町字塘上46-3	
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	01：農業	
②事業の規模	母豚： 828 頭	
	肥育豚： 6892 頭	
③ 従業員数	16	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん → 自ら堆肥化 動物の尿 → 自ら排水処理 動物の死体 → 化製場へ委託処理 廃プラ → 処理業者へ委託処理 金属類→リサイクル業者に売却	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役 (廃棄物の総括責任者) 廃棄物の処理方針の決定 廃棄物の処理計画策定 廃棄物の管理票の管理 行政への報告 場長 廃棄物の管理・運搬指示			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿 (t)	動物の死体 (t)
	排出量	17999.96	95.583
	(これまでに実施した取組) 動物の糞:自ら堆肥化 動物の尿:自ら浄化処理 廃プラスチック類:委託処理 動物の死体:化製場へ委託処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿 (t)	動物の死体 (t)
	排出量	20,044	50
	(今後実施する予定の取組) 動物の糞:自ら堆肥化 動物の尿:自ら浄化処理 廃プラスチック類:委託処理 動物の死体:化製場へ委託処理		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動物の尿 廃段ボール・廃プラ・金属類 動物の死体		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動物の尿 廃段ボール・廃プラ・金属類 動物の死体		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 代表取締役 (廃棄物の総括責任者) 廃棄物の処理方針の決定 廃棄物の処理計画策定 廃棄物の管理票の管理 行政への報告 場長 廃棄物の管理・運搬指示			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (t)	
	排出量	9.1	t
	(これまでに実施した取組) 動物の糞:自ら堆肥化 動物の尿:自ら浄化处理 廃プラスチック類:委託処理 動物の死体:化製場へ委託処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (t)	
	排出量	2.94	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の糞:自ら堆肥化 動物の尿:自ら浄化处理 廃プラスチック類:委託処理 動物の死体:化製場へ委託処理		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動物の尿 廃段ボール・廃プラ・金属類 動物の死体		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動物の尿 廃段ボール・廃プラ・金属類 動物の死体		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞 (t)	動物の尿 (t)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3000.5655	11699.56
	(これまでに実施した取組) 動物の糞：自ら堆肥化 動物の尿：自ら排水処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞 (t)	動物の尿 (t)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3346.133	13,018
	(これまでに実施した取組) 動物の糞：自ら堆肥化 動物の尿：自ら排水処理		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (t)	動物の死体 (t)	
	全処理委託量	9.1	95.583	
		優良認定処理業者への処理委託量	9.1	95.583
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 金属類はリサイクル業者に売却			

(第5面)

②計画	【目標】			
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		廃プラスチック類 (t)	動物の死体 (t)
	全 処 理 委 託 量		2.94	50
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	2.94	50
		再生利用業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類：発生量の減少が見込める製品の採用 動物の死体：飼養衛生管理基準を遵守、伝染病侵入防止処置の徹底、衛生管理の向上により削減する。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

6年度の産業廃棄物発生量及び7年度の目標

(単位：t/年)

産業廃棄物の種類 (名称)		動物の糞	動物の尿	廃プラスチック類	動物の死体					合計
項目										
6 年 度 の 実 績	6年度の産業廃棄物発生量	6300.4	11699.6	9.1	95.6					
	①自ら再生利用した量	3299.8	0.0	0.0	0.0					
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0					
	③自ら中間処理により減量した量	3000.6	11699.6	0.0	0.0					
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑤全処理委託量	0.0	0.0	9.1	95.6				17999.960	
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	9.1	95.6					
	⑦再利用業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					
7 年 度 の 目 標	7年度の産業廃棄物発生量	7026.0	13018.0	2.9	50.0					
	①自ら再生利用した量	3679.9	0.0	0.0	0.0					
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0					
	③自ら中間処理により減量した量	3346.1	13018.0	0.0	0.0					
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑤全処理委託量	0.0	0.0	2.9	50.0					
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	2.9	50.0					
	⑦再利用業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0					